

線のセンターだより

NO.99 平成19年6月1日発行

発行元：(財)札幌市公園緑化協会

豊平公園緑のセンター

ヤマボウシ

ミズキ科 *Cornus*(ミズキ属)

ヤマボウシ (*Cornus kousa*) の自生地は北海道を除く日本各地のほか、朝鮮半島、中国、台湾に分布する、高さおよそ 10m になる花木です。自生域の中心はブナ帯の下部にあります。

長野県などの比較的標高の高いところで生活する人々の間では古くから生活に溶け込んだ植物のひとつで、ヤマボウシが咲いたら田植えをするようにと言い伝えられていたそうです。ちょうど田植えの頃に大きくて白い総苞が目を引き、農作業の目安とされていました。

和名の「山法師」は球形の花序を僧侶の頭に、白い総苞をその頭巾に見立てたものと言われています。

葉は対生し、橢円形で長さは 4~12cm ほどで、全縁でやや波打ちます。短枝に必ず一対の側方分枝を伴い 1 個の花のように見える頭状花序を頂生し、5~7 月に開花します。4 枚の白色~淡紅色の大きな花弁のように見えるのは総苞片であり、その中に集まっている淡黄色の小さい球状のものが花です。その花は秋には直径 1.5cm ほどの赤い果実に

なります。果実は球形の複合果で肉質です。中に数個の種子が含まれていますが食用にすることができます。

小花群の蕾は、冬季には二対の総苞片に囲まれ、更に二対の芽鱗片に包まれます。葉芽は一対の芽鱗片のみで、勢いの良い小枝の先端には頂芽と 4 個の側芽が相接してつき、これらが伸長した 5 本のシートがセットになって樹形の基本構造を作っています。

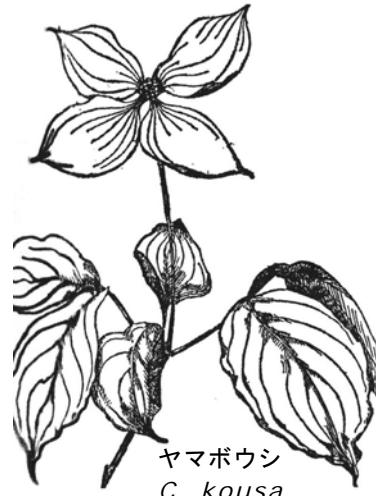
材は黄褐色で光沢があり、緻密で均質のため折れにくく、ノミやカンナなどの木部や木槌を作るのに利用されます。

尚、石垣島や西表島のヤマボウシは木生シダなどと共に生育しており、環境が異なります。台湾産のものと同系統で、日本の他の個体群とは別の経路を経たものと推定され、ヤエヤマヤマボウシと呼ばれることがある。また、ベニバナヤマボウシ (*Cornus kousa f. rosea*) は総苞片が紅色のもので、庭木、公園樹、茶花として利用される。

最近ではヤマボウシの近縁種で、北アメリカ産で総苞片が紅色のハナミズキ(アメリカヤマボウシ) (*Cornus florida*) に人気がありますが、耐寒性が弱く、札幌では開花が難しいようです。 (Y.O.)



ハナミズキ
C. florida



ヤマボウシ
C. kousa

谷川に姿映してヤマボウシ見る人なくて清らかに咲く

山崎 昌夫

6月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原 772-3511 木・日

☆平岡樹芸センター 883-2891 水・土

◆ツツジ類の花後管理

《ツツジ類》

花が終わると花がらがまとわりついで見苦しいばかりでなく、花後結実するために新芽の生長が遅れたり、結実が株の養分を消耗させ弱ってしまうことがあります。花後はとりあえず「花殻摘み」をこまめに行いましょう。この時、丈を詰める枝や混み枝などの整枝・剪定を行い、風通しを良くして病害虫の発生を押さえ、新芽伸長を促すようします。開花を終えた株の順に速やかに剪定するようにしましょう。エゾムラサキツツジはシャクナゲに近い特徴があり、剪定は混み枝の間引き程度とします。

剪定時期の目安のため主な種類の開花期と性質などを下表に示します。



主なツツジの開花期と剪定の難易性 (性)=常緑・落葉、剪=剪定の難易性、(寒)=耐寒性

名前	性	開花月	剪	寒	名前	性	開花月	剪	寒
エゾツツジ	落	6~7	易	○	ヨドガワツツジ	落	5~6	易	○
エゾムラサキツツジ	常	4~5	難	○	チョウジコメツツジ	常	5~6	難	○
エゾヤマツツジ	落	5~6	易	○	ドウダンツツジ	半	5~6	易	○
カバレンゲツツジ	落	5~6	易	○	ハクサンミツバツツジ	落	4~5	易	○
キレンゲツツジ	落	4~5	易	○	ミヤマカリシマ	半	5~6	難	△
クロフネツツジ	落	5~6	易	△	ムラサキヤシオ	落	5~6	易	○
コメツツジ	落	5~6	易	○	ヤマツツジ	半	5~6	易	○
ゴヨウツツジ	落	5~6	易	○	ヨシノツツジ	落	5~6	易	△
サカイツツジ	半	5~5	難	○	リュウキュウツツジ	半	5~6	易	△

《その他の小花木》

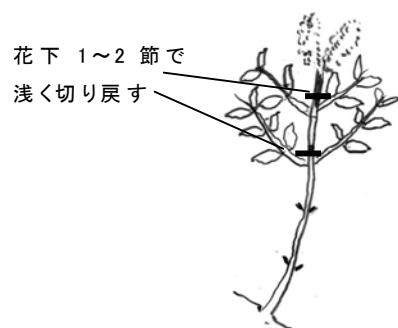
庭の小花木のなかでも、開花の早い種類は、花後の作業として必要に応じ切り戻しや剪定を急ぎます。レンギョウ、ユキヤナギ、コデマリは開花枝の数節を残しかなり思い切って切り戻しましょう。ボケは新梢を伸ばしきりにして、秋に枝元数節残して切り戻します。



ライラックは花後花殻取りを兼ねて切り戻し剪定をします。丈を詰めたいときは花芽を犠牲にするつもりで切り戻すか、秋の落葉時、冬芽を確認して強剪定します。

ボタンは花後花殻(子房ごと)を除去し、7月以降は枝先の芽をつぶして秋に翌年の花芽を残し切り戻します。

エニシダは札幌地域までが北限と言われますが、もっと北の地域での栽培も確認されます。花後は枯れ枝、混み枝の間引きを主体にして、強剪定はしません。



◆観葉植物の手入れ

伸び放題になったパキラやドラセナ類(幸福の木等)、シェフレラ(カポック)、ベンジャミンゴムノキ、インドゴムノキなどはこの時期が剪定、挿し木と植替え(鉢替え)の適期です。

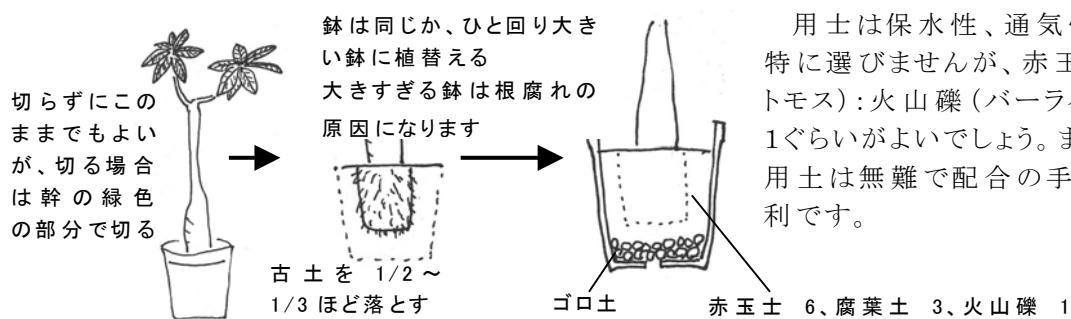
剪定・さし木

ドラセナ類は適当な高さを残してどの位置で切っても、残った茎の頂部から2~3芽の新梢を出して再生します。シェフレラやインドゴムノキ、パキラ等もドラセナ類と同様、樹型を保てる位置を考慮して、どの高さで切っても構いませんが、分枝のある樹型では一番上の芽を外芽にするのがポイントです。

鉢替え(植え替え)

剪定に併せて、必要に応じ鉢替え(植え替え)を行います。ただし、強剪定と植え替えを同時にすると回復が遅れることがありますので、時期をずらして行うとよいでしょう。

植え替えに際してある程度根の整理も行いますが、植えてあつた鉢かひとつ(1号)大きめの鉢を使います。大きすぎる鉢は、鉢内の環境を悪くすることもあり(過湿になるなど)好ましくありません。



用土は保水性、通気性が保たれる物であれば特に選びませんが、赤玉土:腐葉土(またはピートモス):火山礫(バーライトなどでもよい)=6:3:1ぐらいがよいでしょう。また、市販の観葉植物専用土は無難で配合の手間がかかりませんので便利です。

◆Q&A

Q

塩をまけば退治できると言われるナメクジですが、昼間は見つかりませんので塩をまくチャンスもありません。コチョウラン、シクラメンや野菜などいつの間にかナメクジの被害を受けます。ナメクジの性質と防除法を教えてください。

A

ナメクジは貝殻は退化していませんが陸に住む貝の仲間で数種類います。雌雄同体で一匹では産卵できませんが二匹いると交尾して二匹とも産卵します。卵は楕円形透明で2~3mm。土中や落ち葉の下などの湿った場所にまとめて産みます。10日ほどで孵化し、2ヶ月ほどで親と同じ大きさになります。

昼間は湿った鉢底や土の隙間に潜んでいて暗くなると這い出してきて活動し朝方には隠れ家に戻ります。乾燥や低温が続くと体を縮めて休眠しますが好適条件では年中活動します。雑食性ですが好みの植物もあり、コチョウランやシクラメン地面近くの葉物野菜を不規則な食痕をのこして害します。

ナメクジの這った跡に白く残るのはナメクジが分泌する蛋白質で、乾燥すると酸素と反応して光って見えます。湿った土の上では溶け込んで見えなくなります。這っているときは長く見えますが、鉢底などに潜んでいるときは太くて丸く見えます。歩くスピードは遅く、1日10mくらいと見られていますが上り下りのときは横歩きより速いようです。

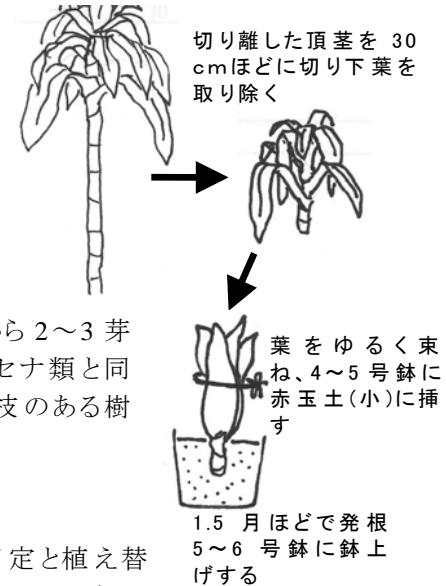
<防除法>

塩をかけると脱水して体は小さくなりますが、再び水分を得ると元に戻りますので、高い効果は期待できません。

ビールには好んで集まるようですが、細口のペットボトルなどは逃げにくい反面、集まり難く、浅く平らな皿のようなものは集まり易いですが飲み逃げされることが多く、何れの場合もペレット状のナメクジ退治薬を併用すると効果的です。メロン、バナナ、スイカの皮などにも寄って来るようです。

基本的にはナメクジの隠れ家がなくなるように環境を整え、鉢底穴には防虫ネットを使うなどし、鉢底など生育しやすい場所をこまめにチェックし、成虫や卵は取り除きましょう。

ナメクジは夜間に活動しますのでペレット状の誘殺剤を夕方散布し防除します。この場合犬や猫などのペットが餌と間違えて食べないように気をつけてください。



6月～7月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
花・野菜・庭木の病害虫防除	6/6(水)	13:30～	5/11(金)	無料
春のミニ盆栽を作ろう	6/9(土)	〃	〃	2,500円
山草の寄せ植えを楽しむ	6/23(土)	〃	6/12(火)	2,000円
果樹などの夏の病害虫防除	7/4(水)	〃	〃	無料
洋ランの夏の栽培方法	7/15(日)	〃	〃	〃
園内自然観察会	7/6(金)	10:00～	〃	〃
展示会				
春の小品盆栽展	6/1(金)～3(日)		札幌小品盆栽会	
バラエティ盆栽展	6/7(木)～10(日)		札幌盆栽会	
斑入り植物展	6/9(土)～10(日)		斑入り愛好会	
現代押し花アート展	6/12(火)～17(日)		日本レミコ押し花学院	
ハーブ展	6/19(火)～7/1(日)		豊平公園花とハーブの会	
春の盆草展	6/22(金)～24(日)		札幌草樹会	
籐・あけび作品展	7/10(火)～16(月)		あけびつる工房らせん	
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 うちわ	6/21(木)	10:00～	6/12(火)	1,500円
現代押花アート講習会 壁掛け	6/30(土)	〃	〃	1,200円
〃 クリスタルスタンド	7/7(土)	〃	〃	〃
あけび工房講習会 さくらの枝かご	6/27(水)	〃	〃	2,300円
〃 集中編 バスケット	6/13(水)	〃		3,800円
〃 集中編 さくらの枝かご	7/11(水)	〃	〃	〃

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
ヒマラヤの青いケシ見学会	6/16(土)	10:00～	6/12(火)	200円
ゼラニウムの育て方	6/16(土)	13:30～	〃	〃
草を使った堆肥作り	6/17(日)	〃	〃	〃
フクシアを育てて楽しもう	6/23(土)	〃	〃	〃
樹木観察会	6/24(日)	〃	〃	〃
ラベンダー&ハーブ教室	7/8(日)	〃	〃	〃
ハンギングバスケット・コンテナ教室	6/8(金)～10(日)	10:00	〃	500円+材料費
ラウンド型バスケットを作ってみよう	6/24(日)	〃	〃	〃
バラ講座	6/29(金)	〃	〃	〃
季節の葉物を使った寄せ植え	7/8(日)	〃	〃	〃
展示会		日	料金	
ハンギングバスケット展	6/5(火)～10(日)		入館料 130円	
ゼラニウム展	6/12(火)～7/1(日)		〃	
フクシア展	6/19(火)～7/1(日)		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
マツの緑摘み	6/3(日)	10:00～	6/12(火)	無料
アレンジ押し花講習会 ミニ壁掛け	6/1(金)	10:00～	5/11(金)	1,500円
〃 ギフトボックス	6/15(金)	〃	6/12(火)	1,500円

その他のイベント

内容	日	会場	所在	お問合せ
絶滅危惧植物展	6/9(土)～24(日)	滝野すずらん丘陵公園	南区滝野 247	592-3333